

「防災特別授業を受けて」

一年二組 川畑 愛香音

私は、今日の防災特別授業を受けて、日本
だけでなく、インドネシアやたくさん
の国でも、地震の被害を受けている
ことがよくわかりました。インドネ
シアでは、津波による被害がとて
も大きく、十分な防災教育が行な
われていないか、たまたま、た
くさんの人が亡くな
ってしまった。私も、防災に
ついては、細かいところまでわ
からないので、地震が起

きても、パニックにならず、正
確な行動ができるようにしたい
と思います。今回来てくださ
った早大防災教育支援会のメン
バーの方は、被災地である、
インドネシアで、防災教育活
動を行いました。インドネシア
の沢山の子供達も、防災授業
を受けて、地震がきたら、ど
のこようなことをすればいい
のか、よくわかりましたと思
います。これから、たくさん
の人が防災について、考え
て、防災の輪が広がって
いけばいいと思います。

早大防災教育支援会の方の話の中に、インドネシアで起きた地震による津波で、バスケットボールにハマっていて助かったという少年の話がありました。その少年は、6時間も海に流されていたといいます。もし、その時バスケットボールにハマっていたければ、おぼれていたらと思います。私は、その話かとても心に残りました。

地震や津波は、自然が起こすことなので、人間の手ではどうすることもできないけど、もし、被害にあって、こまっっている国があれば、協力して、助け合っ、ていこうと思います。